

IV-200 徳島県における観光需要の構造分析

徳島大学工学部 正 員 定井 喜明

徳島大学大学院 学生員 ○岡田 浩

阪神高速道路公団 北沢 俊彦

1. はじめに 昭和62年半ばに施行された総合保養地域整備法や、第4次全国総合開発計画によって、日本全国、観光、レクリエーション、リゾート地域の開発フィーバが巻き起こっているが、徳島県でも、ご多分に洩れず、リゾート地域指定に精力を傾けている。そこで、徳島県が毎年実施している「徳島の観光アンケート調査」の結果を用いて、徳島県入込観光客の観光需要意識・行動、および個人属性について構造分析し、京阪神地域の食料基地とともに、京阪神の観光・レク・リゾート地域を目指している徳島県の観光産業振興方策を導出せんとしたものである。

2. アンケート調査概要 本研究に用いた「徳島の観光アンケート調査」は、徳島県観光物産課が、昭和62年7月10日から8月31日までの間に、県内の観光施設、公営宿舎、旅館、および連絡船・フェリーなどを利用しての観光客に対して、調査票を配付・回収したものである。調査内容は、旅行目的、宿泊場所、宿泊数、周遊地域、観光行動、同行人数、旅行予算、居住地、性別、年令、職業など、14項目に及んだ。その結果、有効サンプル数2,605を得た。

居住地別にみると、関西地域が38.8%と一番多く、次に、関東が14.4%、徳島県内が、14.2%、四国の3県が、12.2%であった。性別では、男が64.4%、女が35.6%、年令別では、30才代が27.4%と一番多く、次に、20才代が20.3%、40才代が19.7%であった。また、職業では、会社員が34.2%、学生が19.4%であり、旅行目的は、観光が63.7%、仕事・帰省が19.5%であった。

3. 観光需要の骨格構造 アンケート調査結果を用いて、数量化理論Ⅲ類分析を行い、その結果、得られた第Ⅰ軸と第Ⅱ軸の平面において、82アイテム・カテゴリー分布を示したものが図-1である。

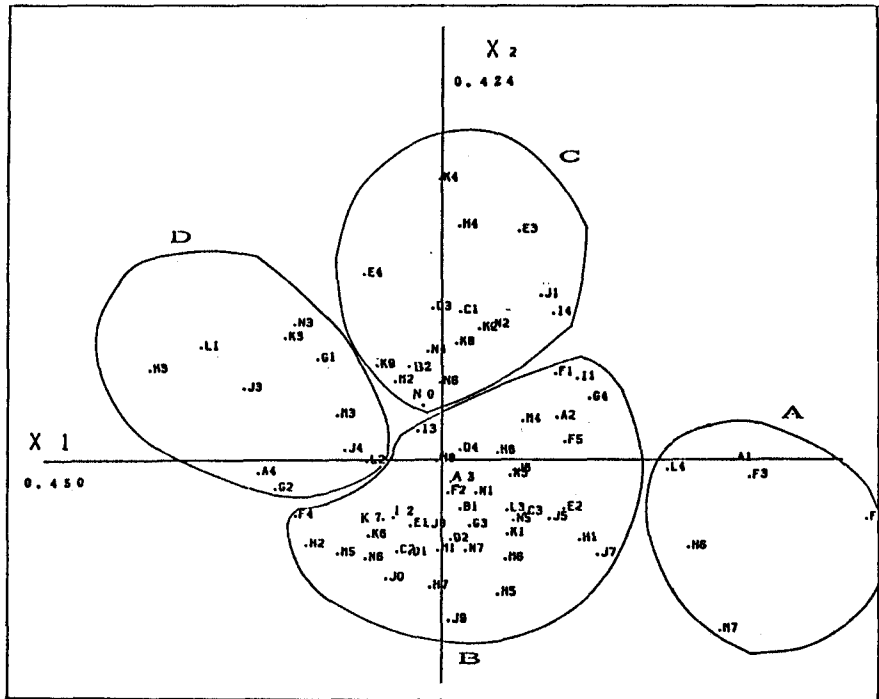


図-1 数量化理論Ⅲ類分析による第Ⅰ軸 X_1 と第Ⅱ軸 X_2 平面における82のアイテム・カテゴリー分布

この第Ⅰ軸に対するアイテム・カテゴリー分布から、この第Ⅰ軸は、「居住地」を表す軸と考えられ、右側が、遠く関東・北海道地域を、また、左側が四国地域を示している。さらに、第Ⅱ軸は、観光・レク行動を表す軸と考えられ、上側がレクリエーション、祭り・ドライブなどで、周遊地は徳島市のみを、また、下側は自然風景、名所・旧跡の見物を始め全般にわたり、周遊地は、全県下にわたっていることを示している

この図-1におけるアイテム・カテゴリー分布を、最短距離法によって、グルーピングを行うと、図に示したように、A、B、C、Dの四つのグループに分けられることがわかった。これら四つのグループに属するアイテム・カテゴリーを、一覧表として示すと表-1のとおりである。

表-1をみると、徳島県において観光産業振興施策の対象とすべきグループは、B、Cグループと考えられる。すなわち、居住地が関西・中部地方であるBグループに対しては、観光と仕事の目的で、陸上交通機関を利用して来県する人が多いので、交通の便をよくし、宿泊施設を充実すること、さらに旅行業者などあらゆる手段で宣伝・PR活動をする必要があると判断される。Cグループはいわゆるギャルが多く、友人・知人の「口コミ」で知って来県しているので、観光サービスのホスピタリィが特に重要となるほか、彼女らを、県下の各地を周遊さすよう、魅力ある話題性の観光資源の開発が必要であると推論される。

表-1 数量化理論Ⅱ類分析による徳島県観光需要のグループ特性

グループ アイテム	カテゴリー			
	A	B	C	D
居住地域	北海道、東北、関東	北陸、中部、関西		四国、中国、九州
性別		男	女	
年齢		30才～50才、50才以上	10才～30才未満	
職業		農林漁業・商工、公務員・会社員、無職・自由業	主婦・学生	
旅行目的		観光、仕事（兼観光）		帰省・その他
利用交通機関	飛行機、JR・飛行機	JR、バス、自家用車、フェリー、JR・バス、JR・フェリー・自動車		
宿泊日数		2泊3日、3泊4日以上	日帰り、1泊2日	
宿泊場所	ホテル・旅館、実家	ホテル・旅館、国民宿舎・民宿・保養センター、上記④ホテル・旅館、同前⑤実家、同前⑥山小屋・キャンプ	実家	山小屋・キャンプ
旅行形態		1人、家族、グループ、団体	招待・その他	
周遊地域		鳴門市周辺、④南部、⑤西部 徳島市周辺・南部、徳島市周辺・西部、南部・西部	徳島市周辺	南部、西部
観光行動		自然風景・名所・旧跡を見る、上記④祭り・行事を見る、同前⑤スポーツ・保養、同前⑥ドライブ・ピクニック	祭り・行事を見る、スポーツ・ドライブ、ドライブ・ピクニック、祭り・行事・スポーツ	スポーツ・保養
予算	5万円以上	3～5万円		3万円未満
情報源	旅行業者、雑誌・ガイドブック・パンフレット	旅行業者、雑誌・ガイドブック・パンフレット、上記④TV・新聞、友人・知人・TV・新聞	友人・知人	TV・新聞
今後の観光旅行目的		美しい自然風景、④祭り・行事、⑤スポーツ・保養、祭り・行事・郷土料理・ピクニック、スポーツ・保養・郷土料理など	祭り・行事、⑤スポーツ、郷土料理・ピクニック	スポーツ・保養

4. あとがき

上記の分析のほか、クロス集計分析（ χ^2 検定）、数量化理論Ⅱ類分析を、いろいろな組合せについて、数多く行った結果、居住地、年齢、性別、職業の固有属性によって、観光需要行動に有意な特性があることがわかったので、これらの有意な特性に応じて観光産業振興方策が具体的に示唆された。